

廃プラスチック類等廃棄物収集・運搬業務及び 処分業務仕様書

1 業務内容等

廃棄物の学外搬出及び廃棄物の再利用方法による処分業務

2 法令の遵守

受託者は、業務の実施に当たって、関係法令を遵守すること。

特に関係法令に定められた諸手続（許可、届書等）を遅滞なく行うものとする。

3 報告等

受託者は、受託内容に異常を認めたときは、直ちに報告しなければならない。

4 回数等

毎日1回以上実施するとともに、本院からの収集・運搬の依頼に対して翌日以降、かつ指定した時刻に実施できることとし、臨時の依頼があった場合についても、原則翌日午前中に収集・運搬を行うこと。

なお、一般廃棄物についても適宜対応できる態勢であること。

5 廃棄物回収のコンテナの大きさ

別添、廃棄物収集・運搬（1週間の基本的なスケジュール）の表中

「4 t 車本院専用コンテナ交換（廃プラ類）」及び「鴨川コンテナ（混合（金属くず含む。）4 t 車コンテナ交換」は、コンテナ交換により廃プラスチック等廃棄物を回収すること。

なお、「4 t 車本学専用コンテナ交換（廃プラ類）」については、本学専用コンテナ（積載量10m³、外寸 縦3.6m、横2.0m、高さ1.5m）2台を用意し、回収の際にはこの専用コンテナにより回収すること。

6 その他

産業廃棄物の処理は、原則として公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センターが運営する電子マニフェストシステムにより行うものとする。

本学職員の指示に従い作業を実施し、搬出に際しては、双方立会いの上、確認する。